

5月の園だより


令和8年5月1日
目黒区立目黒本町保育園園長

新緑のやわらかな葉に吹くさわやかな風が心地よい季節になりました。4月から入園した子どもたちも安心した表情で保育士や友達と遊んでいます。

ある日5歳児の子が「見に来て」と誘ってくれたのでらいおん組まで見に行くと、積み木でマンションを作っていて、箱や板の四隅を積み木の柱で支え高く積み上げていました。手が届かなくなると巧技台に乗って作業していましたが、まもなく材料の板がなくなってしまい子どもたちは困っていました。するとそばで他の遊びをしていた友達が「ほら、積み木をこうやって（十字に組んで）つくれば」とさりげなくアドバイスをしています。“なるほど”といった表情で作業を再開し、友達と工夫しながら遊びは続き20階以上の建物が出来上がりました。友達と一緒に夢中で階を数える姿はとてもいきいきとしていました。材料がなくなった時大人が見守ったあの時間は、子どもたちにとってよかったと感じています。遊びの中で子どもが迷ったり行き詰ったりする時、大人はすぐに手助けしたくなりますが、子どもが自分で考える姿を待つ事はとても大切だと思います。また、遊びに参加していない子も友達の遊びをちゃんと見ています。子どもたちの中で遊びはよい刺激となり、創造力や探求心へとつながっていくのだと思います。子どもたちの遊びをこれからも楽しく見守ってまいります。

今後の検診日程

内科検診	3, 4, 5 歳児クラス
内科検診	0, 1, 2 歳児クラス
歯科検診	全クラス



懇談会日程

0 歳児クラス
1 歳児クラス
2 歳児クラス
3 歳児クラス
4 歳児クラス
5 歳児クラス
時間 16:30~18:00

～入園・進級して1か月の様子をお知らせします～



ひよこ組（0歳児）



テラスで「おいでー」と保育士が声を掛けると、“いまいくよ”というかのように這ってきて保育士の歌を聴きながら身体を揺らしています。保育士が布を揺らすと手を伸ばして触ろうとしたり「いないいないばあ」と布から保育士が顔を覗かせると、保育士を見てにっこりと笑ったりしています。時には笑い声をあげ、関わる保育士の顔を覚え安心して過ごしています。



りす組（1歳児）



水たまりが出来た所に自分から入りジャンプして泥が飛び跳ねるのを楽しんでいました。トロトロの泥に保育士が手を入れると、一緒に遊んでいた子どもたちも泥に触れてみえています。泥を触ってみると「わー」と気持ちよさそうな声を出し、保育士と目を合わせ“同じ”という表情で一緒に手を入れて感触を楽しんでいます。



うさぎ組（2歳児）



「スープ作る」と言って落ち葉を入れると「わかめだよ」紫色の花びらを入れ「ぶどうも入れるよ」とスープを作り始めました。完成するとカップにたくさんスープを注ぎ、溢れる水を見てケラケラと笑う姿もありました。保育士は「こぼれそうだから、こぼれないようにそっと飲むね」とゆっくり飲む真似をすると、次にカップに入れて運ぶときは、こぼさないでそっと運んでくれる姿もありました。



こぐま組（3歳児）



園庭にタイヤとバスマットを使って家作りが始まると“私も作る”とマットを沢山並べて広くしたり屋根を付けたり、それぞれがイメージを持ちながら“自分の家”を作っています。出来上がると「みてみてー」と友達や保育士に教えてくれます。「おうちのドアはここだからここをピンポンして入ってね」と自分のイメージを伝え一緒に入って遊んでいます。



ぞう組（4歳児）



雲梯の端から端まで何度も渡る友達を見て、自分も同じようにやってみたいと雲梯に並ぶ列に行き「どうやるのかな」とじっと見ている。自分の番になると一つ二つと手足を運び「できた」と、周りにいた友達と一緒に大喜びです。一つ大きなクラスになった喜びがやってみたい気持ちを後押ししているようです。



らいおん組（5歳児）



紙飛行機を飛ばすことを楽しんでいて、天井に着きそうなくらいに上がった飛ぶスピードが速かったりすると「今こんな風に飛んだよ」と飛行機自慢をしています。折り方の本を見ながらどの折り方が一番飛ぶか、実際に折っては何度も友達と試しています。自分でイメージした飛び方をめざして“次はこうしてみよう”と工夫しながら友達と挑戦することを楽しんでいて。